

学 科	全学科	コ ー ス	全コース
試験科目名	鉛筆デッサン	試験時間	13:00 ~ 16:00 (3時間)
問題文は、2枚目に記載(ただし、試験開始の合図があるまで2枚目を見ないこと。)			
注 意 事 項	<p><b>試験開始前の注意</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の2枚目を見ないこと。また、解答用紙にも手を触れないこと。</li> <li>2. 受験票は、机上札の隣に置き、監督者から見える位置に置くこと。受験票を忘れた者は、受付で仮受験票の発行を受けること。</li> <li>3. 用具の貸し出しは、一切いたしません。使用可能用具類を確認し、試験開始までに用意すること。忘れ物をした場合は、購入すること。</li> <li>4. 携帯電話を使用することは、時計・アラーム等の用途を問わず、禁止します。必ず電源を切り、かばんの中にしまってください。</li> </ol> <p><b>試験開始後の注意</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 試験開始後、問題用紙および解答用紙類の印刷不鮮明な箇所、落丁、乱丁、汚れ、不備・不足などに気がついたら、手を挙げて監督者に知らせること。</li> <li>2. 試験開始後、まず解答用紙裏面の所定欄に整理番号・氏名を記入すること。<u>東北芸術工科大学、京都造形芸術大学それぞれの欄があるので注意すること。両大学を併願している場合、両大学の所定欄にそれぞれ記入すること。</u> 所定欄には受験番号・解答用紙記入番号と記載されていますが、受験票に表記している整理番号を記入してください。</li> <li>3. 試験開始後は、試験終了時刻まで途中退室できません(お手洗い等を除く)。</li> <li>4. 質問がある場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。質問は、試験終了15分前まで受け付けます。それ以降は受け付けません。</li> <li>5. 試験中の飲食は、水分補給のみ認めます。水分補給用の飲み物はペットボトルなどキャップのついたもののみ可とし、床の上に置くこと。</li> <li>6. 試験中にお手洗いを希望する場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。その際は、他の受験生の受験を阻害しないように注意すること。</li> </ol> <p><b>試験終了時の注意</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 試験終了後は、問題用紙のみ持ち帰ってかまいません。解答用紙を提出せずに持ち帰った場合は、試験放棄とみなします。</li> <li>2. 試験終了後は、受験票その他の忘れ物に注意すること。</li> </ol>		
用 紙	(問題) 2枚(本紙含む) (提出用) B3画用紙×1枚 (下敷用) B2ケント紙×1枚		
使用可能用具	鉛筆、消しゴム(ねりけし含む)、羽ぼうき(製図用ブラシ含む)、 カルトン、カルトン用クリップ、ティッシュおよびガーゼ(袋から出して使用)、 ウエットティッシュ(手を拭くことにのみ使用可。作画には使用しないこと)、 鉛筆削り用具(カッターナイフは、鉛筆を削ることにのみ使用可) デッサンスケール(デスクル)、はかり棒、擦筆 使用不可用具一例...セロテープ、定規類、クロッキー帳 (使用不可用具は、机の上にも出さないこと)		

2009年度 東北芸術工科大学・京都造形芸術大学 デッサン特別選抜試験問題

学 科	全学科	コ ー ス	全コース
試験科目名	鉛筆デッサン	試験時間	13:00 ~ 16:00 (3時間)
問 題	下に記載のモチーフを、机上に自由に配置して、鉛筆デッサンしなさい。		
モ チ ー フ	紙コップ(3個) レンガ(1個) アルミホイル(約50cm程度1枚)		
試験内容に関する 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整理番号、氏名を提出用B3画用紙の裏面の所定欄(東北芸術工科大学は左下、京都造形芸術大学は右下)に記入すること。両大学を併願している場合は、両大学それぞれの欄に記入すること。</li> <li>・ モチーフは<u>すべて描くこと</u>(与えられたモチーフ以外は使用しないこと)。</li> <li>・ 紙コップは、重ねたり、手で破ったり、つぶすことなどは可とする。</li> <li>・ アルミホイルは各自で規定の長さ(約50cm)に切り出すこと。規定の長さ(約50cm)の目安は、配付したB3画用紙の長辺の長さとする。</li> <li>・ アルミホイルは与えられた範囲内で、何回切り出してもよい。ただし、描くのは1枚のみとする。</li> <li>・ アルミホイルを変形することなどは可とする。</li> <li>・ アルミホイルの箱と芯は描かないこと。</li> <li>・ モチーフについては、各受験生が公平になるよう十分配慮し、配付しています。</li> <li>・ 画用紙は縦・横どちらの向きに使用してもよい。</li> <li>・ B2ケント紙は、モチーフの下敷き用として使用すること。</li>   <li>・ <u>以下の行為は不可とする。</u></li> <li>・ 紙コップを切り離して、<u>別の破片</u>とすること。</li> <li>・ モチーフとして切り出した1枚のアルミホイルを、さらに細かく切り離して<u>別の破片</u>とすること。</li> <li>・ 紙コップをセロテープで固定すること。</li> <li>・ カッターナイフを用いて、モチーフを加工すること。</li> <li>・ はかり棒など補助道具を用いて直線を引くこと。</li> </ul>		

2008年12月14日(日)